

2022年度事業報告書

法人の名称 **特定非営利活動法人 JAM ネットワーク**

1 事業の成果

2022年度は、計画通り団体の基盤整備をすすめた。

ホームページの改編を行い、社会的養護下の子どもの自立支援という社会課題を中心に訴求したホームページをアップした。また、ファンドレイジングコンサルタントの指導を受ける中で、団体内のファンドレイジング業務を担当する認定ファンドレーザの採用を決めた。さらに、認定NPOの取得をめざして、神奈川県のおすすめを得るため申請書を作成し、神奈川県指定特定非営利活動法人審査会に提出した。

活動内容については、2021年度に行った児童養護施設職員向けオンライン研修事業を、自主事業として定着させ収益の柱となることを期待して、チャレンジした。今回のチャレンジは、今後の活動計画を策定する上で貴重な経験となった。全国の児童養護施設へ、平素から定期的にメールを配信したり、会合へ参加するなど認知度を上げる地道な取り組みが必要と実感した。一方で、以前から関係性を構築し、活動実績のある2施設から研修の依頼をいただいた。これまでことばキャンプ+職員研修を受けたことがあり、プログラムの良さを実感してのご依頼だった。施設と信頼関係が結ばれていれば、自主事業の展開は可能である見通しができた。

研修の新しい試みとして、児童養護施設職員に内定した新任職員向けの「内定者研修」を実施した。参加者の感想がよかったため、今後も研修プログラムとして展開が期待できる。「内定者研修」を実施するにあたっては、至誠学園名譽理事の高橋利一氏のご助力と強いバックアップがあったことも加えておきたい。実施にあたり、(社)日本児童養護実践学会の登壇を勧められ、メンバーが学会で活動報告を発表することになった。同学会で発表をすることは、団体の認知度を上げ、信用を得る上でもメリットがあると思われた。活動の課題としては、活動できる人数が少ないことがあげられよう。プログラムの実施が決まっても、現実的に遂行する人材が少ないため、プログラムを遂行することに苦勞する問題があった。次年度への課題としてあげておきたい。

2 事業内容

(1) 子ども等のコミュニケーション能力育成に関する事業に関する事業

事業名	実施施設	日時	場所	受益者数
新任職員研修 (自主事業)	大隈学舎 美桜の杜 はぐくみの杜君津	5月～ 6月	オンライ ン	職員4名
新任施設職員と 子どもの研修	小田原市ゆりかご園	9月～ 12月	施設内	職員4名 子ども 6名
母子生活支援施設 研修(職員、子ど も、母親)	東京都調布市母子生活支援施設 皐月	7月～ 8月	施設内	職員15名 子ども11名 親 6名
里親会研修	NPO法人 神奈川フォスターケアサポート プロジェクト 高校生を対象にした 自立のためのスクーリングプログラム	10月	横浜市上 大岡会場	高校生6人
内定者研修	リーチ育英会 児童養護施設職員内定者研修(オンライ ン)	2023年 3月	オンライ ン	施設職員20 名

その他の事業 なし